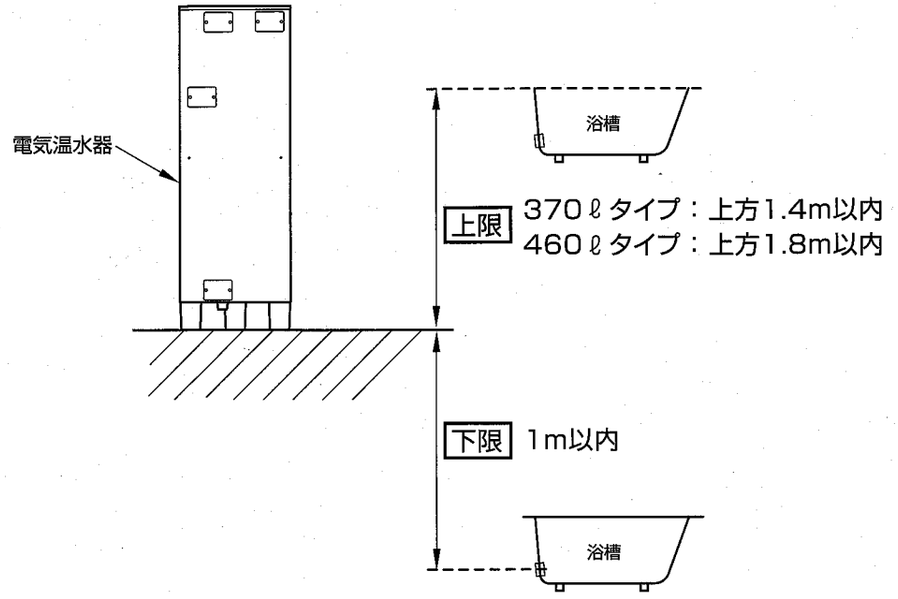
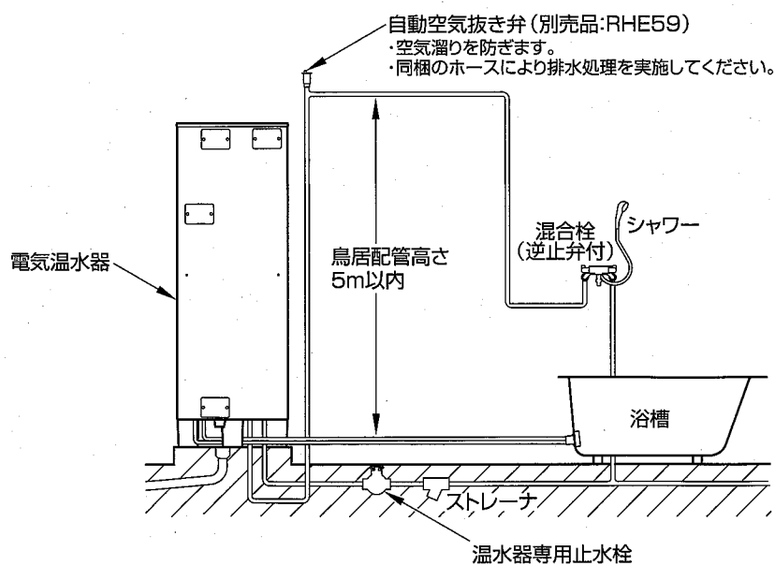
浴槽設置位置

- 温水器設置面より浴槽あふれ縁までの高さは、
  370ℓタイプ：上方1.4m以内
  460ℓタイプ：上方1.8m以内
  としてください。
- 温水器設置面より循環アダプタまでの高さは、下方1m以内としてください。
  （370ℓタイプ、460ℓタイプ共通）



鳥居配管の場合

- 給湯配管をやむを得ず鳥居配管にした場合は空気混入によるお湯の飛び散りを防ぐため必要に応じて自動空気抜き弁（別売品:RHE59）を取付けてください。



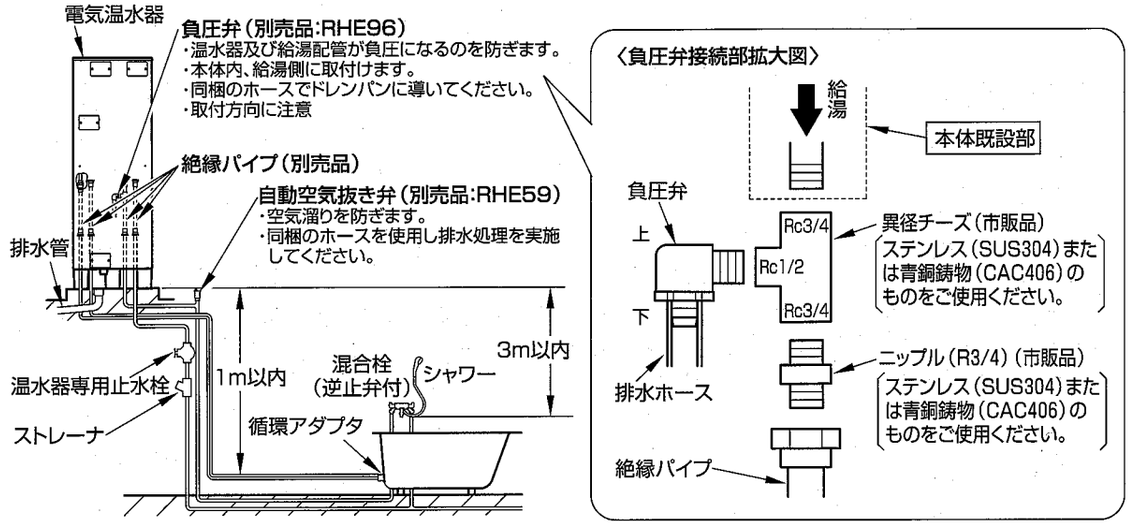
特殊配管例

〔階下へ給湯する場合〕

○温水器を2階又は屋上に設置し、階下へ給湯する場合は必ず別売品の自動空気抜き弁（RHE59）及び負圧弁（RHE96）をご使用ください。
自動空気抜き弁及び負圧弁に同梱のホースを使用し排水処理を実施してください。
負圧弁（RHE96）を取付るには、異径チーズ（市販品）とニップル（市販品）が必要です。（下図参照）

○混合栓と温水器の高低差は、3m以内にしてください。3mを超えると空気の混入によりお湯が飛び散るおそれがあります。

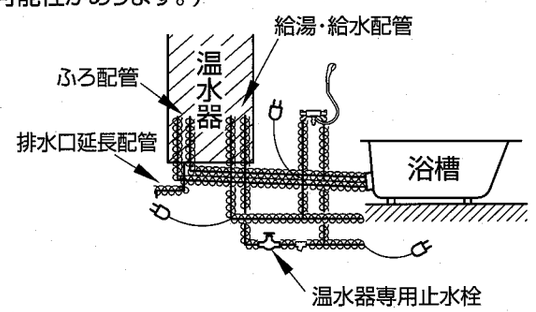
○浴槽の循環アダプタから温水器の高低差は、1m以内にしてください。



凍結予防対策

保温工事を行っていても周囲の温度が0℃以下になる配管は、適切な凍結予防対策を実施してください。（配管が凍結し機器や配管が破損する可能性があります。）

〈凍結予防ヒータによる方法〉



- 本体内部・外部配管とも凍結のおそれのある配管部分はすべて凍結予防ヒータを巻いてください。（本体内部の給水・給湯・ふろ接続口まで確実に巻いてください。）
- 排水配管を延長した場合は排水口延長配管にも凍結予防ヒータを巻いてください。（8ページ参照）
- 凍結予防ヒータは何本も使用するので適当な位置にコンセントを設けてください。
- 凍結予防ヒータを巻く場合はヒータの「説明書」による施工を行ってください。

※凍結予防対策とその操作方法をお客様に十分に説明してください。（取扱説明書を参照ください。）
※配管に水がない状態で凍結予防ヒータを絶対に通電させないでください。
※屋外にコンセントを設ける場合、防雨型のコンセントにしてください。

保温工事

- 配管接続の終了後漏水のないことを確認し、保温工事をしてください。
- 湯温の低下と凍結予防のため、すべての配管には必ず保温材を巻いてください。
- 地中配管や屋外など雨露のかかる保温箇所には適切な防水処理をしてください。

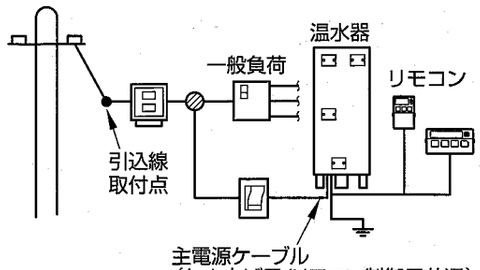
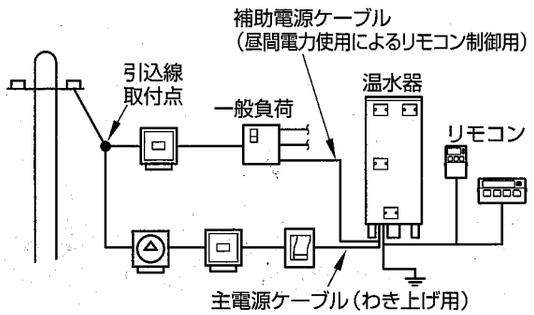
電　気　工　事

電気設備に関する技術基準及び電力会社の内線規程に基づき指定工事業者による施工が必要です。

必ず漏電遮断器の動作を確認してください。
（故障のまま使用すると感電するおそれがあります。）

引込配線工事

●電力契約により工事が異なります。

電力契約	配線工事概略
時間帯別電灯契約で使用する場合	 ●所轄の電力会社によっては時間帯別電灯契約でも主電源（わき上げ用）と補助（リモコン制御用）電源を別々に引き込む必要があります。その場合には、別売の深夜電力契約キット（RHE572）と、時間帯別電灯契約B対応キット（RHE632）が必要です。
深夜電力契約で使用する場合	 ●主電源のほかに、補助電源（昼間電力使用によるリモコン制御用）の接続が必要です。別売の深夜電力契約キット（RHE572）を準備してください。

電力量計
ジョイントボックス
ブレーカ
分電盤
タイムスイッチ

● 電気温水器の定格、及び使用するブレーカの定格、電源ケーブルの太さは次のとおりです。

① 時間帯別電灯契約で使用する場合

品　番	定格電圧	定格消費電力	ブレーカ定格	電源ケーブル太さ	電源ケーブルの種類
RE3705	単相200V	4.6kW	40A	φ3.2mm（8mm²）	VV
RE4605	単相200V	5.6kW	40A	φ3.2mm（8mm²）	VV

② 深夜電力契約、および時間帯別電灯契約で主電源（わき上げ用）と補助（リモコン制御用）電源を別々に配線する場合

品　番		定格電圧	定格消費電力	ブレーカ定格	電源ケーブル太さ	電源ケーブルの種類
RE3705	主電源（深夜電力）	単相200V	4.4kW	30A	φ2.6mm（5.5mm²）	VV
	補助電源（昼間電力）	単相200V	0.2kW	15A・20A	φ1.6mm	VV
RE4605	主電源（深夜電力）	単相200V	5.4kW	40A	φ3.2mm（8mm²）	VV
	補助電源（昼間電力）	単相200V	0.2kW	15A・20A	φ1.6mm	VV

本体内配線工事

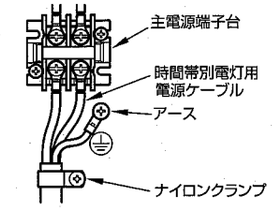
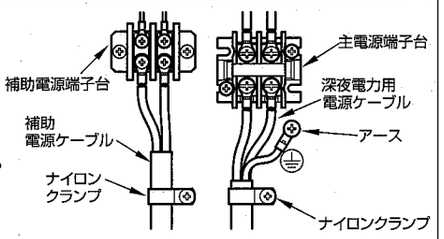
●電源工事・アース工事・リモコン工事を行ってください。
※各配線で使用するケーブルは必要以上にたるませないでください。

1. 電源工事

●電力契約により工事が異なります。ご注意してください。
必要な配線は全て電源ケーブル・アース線口から機器内に入れてください。

電源ケーブルには、端子台に付属の丸端子を使用してください。
その際、丸端子に適合した圧着工具で確実に圧着してください。

電源ケーブルを端子台に取付ける際は、端子のガタツキがないようにねじを確実に締めてください。
端子のガタツキがあると、端子が赤熱する恐れがあります。

電力契約	工事内容（※圧着端子は端子台に付いているものを使用ください。）
時間帯別電灯契約（工場出荷時）	① 時間帯別電灯用電源ケーブルを200V主電源端子台に接続してください。 ② ナイロンクランプで、電源ケーブルを固定してください。 主電源（わき上げ用）と補助（リモコン制御用）電源を別々に引き込む場合は、別売の深夜電力対応キット（RHE572）と、時間帯別電灯契約B対応キット（RHE632）が必要です。取付方法ならびに配線方法は時間帯別電灯契約B対応キット（RHE632）に付属の取付説明書をご覧ください。 
深夜電力契約	① 電装基板のスイッチ（DIPSW）の1番をOFF（下）にしてください。 （下図の電装基板イラスト参照） ② 電装基板の電源コネクタをCN1（黒）（時間帯別電灯契約時）からCN2（赤）（深夜電力契約時）に差替えてください。 （下図の電装基板イラスト参照） ③ 別売品の「深夜電力契約対応キット」を取付けてください。 ④ 深夜電力用の電源ケーブルを200V主電源端子台に接続してください。 ⑤ 補助電源ケーブルを200V（※）補助電源端子台に接続してください。 ⑥ ナイロンクランプで、電源ケーブルを固定してください。 **※制御用電源は200Vのみ接続可能です。** 

●電装基板略図　※工事で使用する場合があるスイッチ（DIPSW）及びコネクタ（CN1、CN2）のみを記載している略図です。

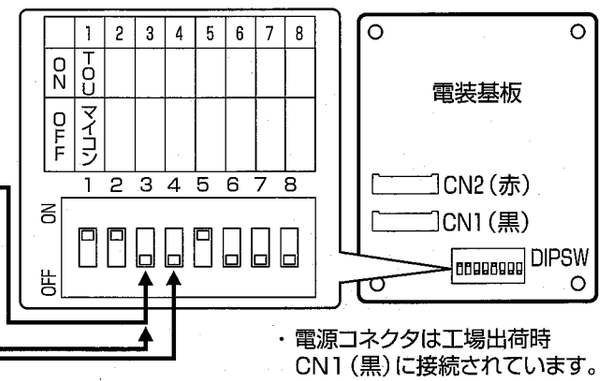
機種＼DIPSW	1	2	3	4	5	6	7	8
RE3705	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
RE4605	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF

時間帯別契約時、工場出荷時のスイッチの状態です。

※中国電力管内でご使用の場合は下図DIPSWの3（左から3番目）をON（上）にしてください。

※北海道電力管内のドリーム8契約で使用の場合はDIPSWの3、4を右記の様に設定してください。

契約タイプ		夜間時間	DIPSW 3	DIPSW 4
中国電力管内		23時～8時	ON	OFF
北海道電力管内（ドリーム8）	A	22時～6時	OFF	ON
	B	23時～7時	OFF	OFF
	C	24時～8時	ON	ON



・電源コネクタは工場出荷時CN1（黒）に接続されています。